

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	福島の子もたちとともに・世田谷の会
支援対象者・エリア	福島県在住の親子
企画開催地	東京都世田谷区
企画名称	ふくしまっ子リフレッシュ in 世田谷
実施期間	

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

放射線量が高いため、不安を感じ、外遊びがままならない福島から、子どもたちとその家族を世田谷により、線量の少ない環境で外遊びを思い切り楽しんでもらおうと、2012年から「ふくしまっ子リフレッシュ in 世田谷」を実施しています。毎回約50名の親子を招き、この企画が18回目となりました。

今回の企画は5泊6日、世田谷に到着すると、まず宿舎の近所の公園に出かけ、大学生ボランティアたちと一遊び、次の日はお花見にでかけそこでまた外遊び、また、期間中に世田谷区の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」で一日遊ぶ日を設けています。また最終日もバスに乗る直前まで公園で遊びます。不安無く、地面に転がったり、泥遊びをしたり、何気なく枝や葉っぱを拾ったり、そんなことができることがありがたいと親たちが言います。地元では子どもを怒ってしまうことも多いそうです。

大切にしているのは交流、初日は歓迎会、最後の夜はお別れお茶会として、福島の親と世田谷のメンバーが本音を語る機会を持ちます。また子どもが遊んでいる間、親同士、また世田谷のメンバーとおしゃべりをするのも大切な交流の場です。県内では放射能の不安を話せない雰囲気があるそうなので、口にできることがリフレッシュに通じるそうです。こうしたことから、参加者との信頼関係ができています。大学生や子育て中の母たちなどのボランティアとの交流も、大切にしています。

こうした保養、リフレッシュの企画が全国的に減っている実情から、続けてほしい、という声が多く、できる限り、継続していこうと話しています。

活動の様子(写真など)

期間中はとにかく、外で思い切り自由に遊ぶ時間を大切にしています。近隣の広い公園(写真右)、またプレーパークで(写真左下)プログラム無しで思い思いに、いろんな人と関わりながら遊びます。最終日のお見送りは(写真右下)皆で挨拶を交わした後のものです。

ボランティアの延べ人数はこれよりずっと多く、親子と交流し、取り組みの意味や大切さが伝えられています。



※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。